

☆合駒のある作品が好きで…、合駒の

ある作品しか作れません。

深井 一伸

「夜神楽」 持駒 なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1
			王					手
								と
		龍				飛		
皇	科	銀						
		皇						
	糸			馬				

(詰パラ 平成19年8月号)

6四龍、63金合、同龍、同玉、
6四銀、5二玉、32飛成、42歩合、
6三金、6一玉、4一龍、51歩合、
6二金、同玉、8四馬、7一玉、
5一龍、61桂合、6二龍、8一玉、
6一龍、71銀合、8二歩、9二玉、
7四馬、83香合、同馬、同玉、

6三龍、8二玉、8四香、9一玉、
9三龍、92飛合、8三桂、8一玉、
71桂成、同玉、6二銀、同玉、
9二龍、72角合、同龍、同玉、
9四角、6二玉、6三飛、5二玉、
53飛成、4一玉、8五角、3一玉、
3三龍、32飛合、2三桂、2一玉、
11桂成、同玉、1二と、同玉、
3二龍、22金合、1四飛、13桂合、
2四桂、1一玉、13飛成、同金、
2三桂、同金、12桂成迄71手詰。
☆本作は、七種合使用駒数タイ記録(10枚)を指して創作したものです。12枚にまで到達したところで行き詰まり16年間放置していました。東京詰将棋工房参加をきっかけに、さらに1枚減らせることに気がつき、結局使用駒数11枚で妥協しました。駒数を減らすため、七種の合駒を各1回で揃えられなかったことや、収束は既成手順を使っていたりするなど不満が多いのですが、この素材ではこれがほぼ限界です。

よう。

題名の「夜神楽」は宮崎県の伝統芸能です。その舞のなかに、天岩戸に籠っていた天照大神が再び世に現れるまでを表した岩戸五番と称される一連のものがあります。質素な舞台から七種合出現はそれら思ひなと思います。宮崎県民であったところ発表する予定でしたが、発表時は島根県民となりました。

①昭和32年。②埼玉県。③金融機関職員。⑤詰将棋パラダイス昭和46年5月第184号。⑥約20題。⑦四段。⑨若島正、塩野入清一。⑩非電源系ゲーム。

